

**令和2年度 西脇市議会  
新型コロナウイルス感染症対策事業  
に関する課題懇談会 報告書**

**令和2年12月**

**西脇市議会**

## 開催概要

開催趣旨：西脇市議会では、令和2年6月の定例会のほか、5月、7月及び8月の臨時会において、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策事業を審議し、必要となる予算を成立させ、大きな影響を受けられている市民のみなさまや事業者を対象に、様々な施策が講じられています。

そこで、これまで実施してきた事業の効果や課題、更には、今後必要と思われる新たな事業等に対し、各区長・町内会長・自治会長のみなさまから率直な御意見や御提案をいただく場を設け、それを基に、令和2年12月定例会に向け市長へ事業提案を行います。

開催期間：令和2年10月6日（火）～17日（土）

開催場所：下表のとおり

地区	開催日時	開催場所
野村地区	10月6日（火）19時～	野村町公民館
比延地区	10月7日（水）19時～	上比延町公民館
重春地区	10月8日（木）19時～	板波町公民館
芳田地区	10月8日（木）19時30分～	芳田の里ふれあい館
津万地区	10月9日（金）19時～	大野隣保館
西脇地区	10月15日（木）19時～	センティア西脇
黒田庄地区	10月15日（木）19時～	黒っこプラザ
日野地区	10月17日（土）19時～	サンパル日野

主催：西脇市議会

最終的に市議会から市長へ提言した内容は以下のとおりです。

※市議会総務産業常任委員会と市内3商店会（自遊空間きらら、協同組合西脇商連、しばぎくら通り商店会協同組合）との課題懇談会で提案いただいた内容も含まれています。

## 令和2年度西脇市議会新型コロナウイルス感染症対策事業に関する事業提案について

本市議会では、定例会のほか、5月、7月及び8月の臨時会において、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策事業を審議し、必要となる予算を成立させてきました。

これにより、大きな影響を受けている市民や事業者を対象に、様々な事業が実施されているところです。

この度、本市議会では、市内8地区の地区区長会及び市内3商店会と懇談し、これまで実施してきた事業の効果や課題、更には、今後必要と思われる新たな事業等について意見を伺い、下記のとおり事業提案としてとりまとめました。

つきましては、この内容を十分御留意いただき、特段の御配慮をいただきますよう申し入れます。

### 記

- 1 令和2年度12月補正予算対応すべき事項  
公民館のコロナ対策備品・消耗品の支給  
・マスク、消毒液、非接触体温計等の備品の購入支援は、今後各自治会でイベント開催が増加するに従い必要である。  
＜予算案＞  
世帯割 600万円、均等割 400万円 合計 1,000万円  
⇒12月補正予算で「自治会活動支援臨時給付金（予算額 840万円）」が計上され、  
令和2年度中に自治会で購入する（した）感染症対策備品の経費が支給されます。
- 2 令和3年度予算対応すべき事項  
ポイントシール事業の実施（県予算がなくとも市単独事業で）  
・3商店会ともポイントシール事業への評価が高かった。  
・コロナ禍におけるV字回復フェーズ対策の他に市制15周年記念事業としても有効である。  
・市単独の場合、3つの商店会の連携やポイント満額未達の消費者のためにポイント口数に応じた抽選会を行うなど工夫した実施を望む。  
＜予算案＞  
1,800万円～3,000万円  
【600万円（当年度の半額）～1,000万円×3（商店会）】
- 3 令和3年度検討すべき事項
  - (1) 公平性の点からクーポン券発行事業又は（無償の）商品券配布事業の検討  
・個人単位で3,000円～5,000円の発行（他の自治体でも事例があり、これらを参考に実施の検討）
  - (2) 中止しているイベントの再開と予算の確保  
・本年度中止したイベントについては、来年度は予防対策をしながら、再開に向け努力する。

## 各地区で出された意見・提案

地 区	野村地区
開催日時	令和2年10月6日(火) 19:00～
開催場所	野村町公民館
参加人数	男性11人 女性0人 計 11人
担当議員	高瀬洋 中川正則 村井正信 坂部武美 村岡栄紀 美土路祐子 吉井敏恭

### ★1部（市議会からの報告）の意見・提案

- ・市議会からの報告について特に質問・意見・提案なし。

### ★2部（意見交換会）の意見・提案

#### ① 全市民が実感を得られる事業について

- ・小野市は全市民に1万円（商品券）を贈ることとしているが、西脇市において特別定額給付金のように全市民が実感できる事業が少ないのではないかと。  
⇒子育て世帯、ひとり親世帯への支援は手厚く行っています。全市民にお金を配るような事業よりも、共通的に関わるような事業を考えています。ただし、全世帯向けに水道料金の免除を行っています。現金ではなく、事業でやっていることを御理解願います。

#### ② 市内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応について

- ・市内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合、西脇市や議員は、どのように対応をしているのか。  
⇒感染者が特定できる情報を知り得る体制がありません。令和2年5月、議会において新型コロナウイルス感染症を理由とする差別の根絶を表す決議をしました。

#### ③ 子育て世代の支援について

- ・野村町には子育て世代が多く、教育費や住宅ローン返済などコロナ禍における親の経済的（金銭的）なストレスが、子ども（特に幼い子）に悪い影響を与えているのではないかと危惧している。子育て世代への支援の手厚さを、西脇市の特色とするのはどうか。  
⇒（アンケートの結果）新型コロナウイルスの影響とみられるストレスを抱えた子どもが3割程度確認されています。学校教育においては、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーによる対応を実施しています。また、令和2年4月28日以降に出産した、または出産を予定している方を対象に出産応援特別給付金を支給するなどの事業をしています。  
⇒続いて、子育て世帯へ2万円の臨時特別給付金事業、ひとり親世帯への3万円の特別支援事業などについて説明しました。
- ・子育て世代、特に幼い子どものことを考えてほしい。DVや虐待の問題など、子どもが親のストレスのはけ口になっている。子育て世代の重点的な支援が必要ではないか。  
認定こども園の保育料の負担軽減など手厚い支援が必要ではないか。  
⇒認定こども園を利用する3歳から5歳までの全ての子どもの利用料が無償である等の現状を説明しました。

④ G I G Aスクール構想の推進について

- ・ G I G Aスクール構想の推進と新型コロナウイルス感染症対策の関係は。  
⇒当初、令和5年度までに小中学校の児童・生徒に1人1台のコンピューターを整備する計画でしたが、令和2年度に前倒しになりました。その他、コロナ禍におけるG I G Aスクール構想の推進の取組を説明しました。

⑤ コロナ禍における区費減額の取組に関連して

- ・ 野村町ではコロナ禍において町民の負担の軽減、対面による集金を回避する目的から、上期の区費の免除を決定した。役員の賃金2割カットや、補助金を減額する等のやりくりをしてきた。にもかかわらず、西脇市社会福祉協議会においては、例年と同様の目標額（住民等からの会費収入）を見込んだ事業計画がなされているのはいかななものか。意識の乖離を感じる。（コロナ禍において町内会長、民生委員・児童委員に対面による集金を強いる目標である。振込用紙を利用する等の柔軟な対応をしてほしい。）  
⇒自治会によっては集金をせず町内会費から支出するところもあるので、御意見として伝えます。

⑥ コロナ禍における避難所の対策について

- ・ コロナ禍における避難所の対策は。簡易テントとマットは、各避難所に備え付けられているのか。  
⇒避難所となる体育館では換気などの対策をしています。簡易テントとマットについては、開設時に、避難所の広さや避難の状況に応じ配置します。

⑦ その他

- ・ 社会的弱者に目を向けてほしい。（区長あいさつ）
- ・ 「市議会からの報告」（説明）について  
特別定額給付金（1人当たり10万円）の支給は、あくまでも国の事業であり、西脇市の事業とは区別して説明すべきではないか。
- ・ 地域自治協議会について、市議会の認識は。地域自治協議会が、まちづくりの活性化に結び付くのか。地域自治協議会の取組に悩んでいる。  
⇒自治基本条例を制定し、「地域で解決できることは地域で取り組む」ことを基本とした自治協議会の取組がすすめられています。市議会では、地区により温度差があることは理解しており、地区ごとのペースで設立されることを見守っています。

地 区	比延地区
開催日時	令和2年10月7日(水) 19:00～
開催場所	上比延町公民館
参加人数	男性8人 女性0人 計 8人
担当議員	高瀬洋 中川正則 村井正信 坂部武美 村岡栄紀 美土路祐子 吉井敏恭

★1部（市議会からの報告）の意見・提案

- ・市議会からの報告について特に質問・意見・提案なし。

★2部（意見交換会）の意見・提案

① コロナ禍が長期にわたった場合の対策について

- ・教育環境の充実、生活支援の取組について説明を受け、手厚い支援で安心した。しかし、コロナ禍が収束する兆しが無い、長期にわたった場合、財源問題の対策はあるのか。

⇒財源の問題については、当面財政調整基金の取り崩しにより対応することが考えられます。その先については、新庁舎・市民交流施設が完成する令和3年度、7月か8月ごろに、コロナ禍の状況を見極めての判断になると思われれます。

② 本日の「課題懇談会」での成果の反映方法について

- ・「課題懇談会」での成果は、12月定例会で反映されるのか。

⇒急ぐものは（事案によっては）12月定例会で取り上げたいと考えています。提案については8地区でいただいた意見を精査して決定します。

③ 敬老金について

- ・77歳の敬老金を廃止したことについて、何とか財源を見つけて継続することができなかったのか。残念である。
- ・西脇市から敬老金を預かったが、尋ねた住所に住まわれていない方、既にお亡くなりになった方が含まれていた。また、99歳の方が敬老金をもらって本当に喜ばれるのだろうかという疑問に思う。減額の対象者を精査、分配方法を見直すなどして77歳を続けるべきではなかったか。

⇒77歳の敬老金を廃止した経緯を説明しました。既にお亡くなりになられた方（堀町）については確認します。

- ・廃止する場合は、廃止する理由、廃止による事業費の使途を市民に説明すべきではないか。区長として説明に苦慮している。

⇒理事者の説明では、新庁舎のオープンにあわせて健康増進事業の展開、公共交通の再編（コミュニティバスの再編、デマンド型交通の導入）に充当するとの説明を受けています。

#### ④ コロナ禍の給付金について

- ・小野市は全市民に1万円を贈ることとしているが、西脇市においては家庭（世帯）単位、あるいは地域（各自治会）単位に活性化を図る目的で給付（20～30万円）を考えてはどうか。平等である。  
⇒家庭（世帯）単位、あるいは地域（各自治会）単位に給付することについて、参加者の意見をお聞きしました。
- ・プレミアム商品券は、金持ちが得するやり方で不平等である。購入金額を10万円から3万円くらいに抑えて、みんなが買えるやり方をすべき。
- ・どのような方法をとっても、平等はあり得ない。良い使い方を考えてほしい。本当に困っている人に行きわたる制度に。また、役所の手続がややこしい。手続の簡素化を求める。
- ・比延町では、まつりの中止などを反映して前期の町費を2千円減額した。後期についても減額を検討中である。平等性について考える。
- ・地域（各自治会）単位に給付する場合、各自治会に大きな金額が見込めないのでは効果がない。

#### ⑤ 岸久後橋について

- ・KYC（光洋機械産業株・従業員220人、内190人は自動車通勤。）西脇工場すぐの岸久後橋が狭くて危険である。特に近年は、企業進出に伴う大型車両の通行量が増え危険度が増している。橋の拡幅、歩道橋の新設を5年前から要望しているが、全く進展しない。市長からは「予算がない」との回答しかない。人身事故があつてからでは遅い。議員も一丸となって要望の実現に協力してほしい。また、その先にある県道との交差点の改修を考えてほしい。大型トレーラーの通行に支障がある。  
⇒現地調査により現状は把握しています。特に、財政的な理由から実現に至っていません。現在の交差点（T字路）の形態は、事故防止につなげるものであると認識しています。

#### ⑥ 中郷橋について

- ・新庁舎・市民交流施設のオープンにより交通量の増加が見込まれる。今でも狭くて危険であり、広い橋への付け替えの検討をお願いします。付け替えが無理でも、歩行者や自転車が安心して渡れる安全対策を講じてほしい。  
⇒御意見として担当課に伝えます。

#### ⑦ その他

- ・夏期の臨時スクールバスの運行については感謝している。暑さ（気温）を考えると、運行期間をもう1週間延ばしてほしい。（運行期間は、気温を考慮して柔軟に対応してほしい。）
- ・住吉町、中畑町では、バスの便数が少なく移動手段に困っている。乗車人数は少ないが、バスに頼らざるを得ない人もいる。  
⇒デマンド型交通の導入について説明しました。

地 区	重春地区
開催日時	令和2年10月8日(木) 19:00~
開催場所	板波町公民館
参加人数	男性7人 女性0人 計 7人
担当議員	高瀬洋 中川正則 村井正信 坂部武美 村岡栄紀 美土路祐子 吉井敏恭

★1部（市議会からの報告）の意見・提案

① 北播磨あつもり券（商品券）について

- ・北播磨あつもり券（商品券）に事前申込みをしたが、抽選に外れた。発行枚数（3市1町で6万枚）を増やしてほしい。

⇒4人に1人くらいしか当たらなかったようです。

② 山田錦生産者の支援について

- ・新型コロナウイルス感染拡大で、日本酒の消費回復が見通せないことから、JAから15%の減産を知らされている。山田錦生産者の減収についての補填支援をお願いしたい。

⇒減産により空きとなるスペースに他の品種を耕作するなどの努力もお願いします。

③ コロナ禍における学校教育について

- ・臨時休業後の学校教育について、不登校等の現状は。

⇒（アンケートの結果）新型コロナウイルスの影響とみられるストレスを抱えた子どもが3割程度確認されています。学校教育においては、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーによる対応を実施しています。不登校については予想に反して臨時休業前より減少しています。減少の要因と考えられるのは、課題プリントを担当が家庭訪問で配布し、健康観察とともに回収する取組の成果と考えられます。

④ 西脇病院の発熱トリアージ外来について

- ・これからインフルエンザが流行する季節になるので、西脇病院の発熱トリアージ外来の運用期間（懇談会開催当時の予定では令和2年10月31日まで）を更に継続してほしい。個人の医院でも発熱トリアージ外来のようなことができないのか。病院の方からよく聞いて支援をしてほしいと思うが。

⇒発熱トリアージ外来は地元医師会の協力によって運営できています。（運営状況を説明）

個人の医院における発熱患者の対応については把握していません。

⑤ 西脇病院でのPCR検査について

- ・西脇病院においてPCR検査が可能か。地元でもできるということは安心感につながる。

⇒西脇病院においてもこれからPCR検査が可能となります。ただし、単に検査を受けたい人は対象外です。



## ⑥ 新型コロナウイルス感染者に対する差別について

- ・自分が新型コロナウイルスに感染しているのではないか、あるいは隣人が感染しているのではないかという疑心暗鬼も加わり「不安」を感じている。この不安が差別につながるのではないか。検査体制の充実により、不安の解消に努めてもらいたい。  
⇒令和2年5月、議会において、新型コロナウイルス感染症に対する誹謗中傷や風評被害などの差別につながる行為の根絶を表す決議をしました。

## ⑦ G I G Aスクール構想について

- ・パソコンの活用方法は、児童・生徒1人につき1台の情報端末を配って終わり、ということがないように取り組んでもらいたい。在宅になったときに使えるよう、今のうちに準備しておく必要がある。  
⇒G I G Aスクール構想の推進の取組を説明しました。（セキュリティ、プログラミング教育等）

## ⑧ 自身が発熱した場合の対応について

- ・コロナ禍において、自身が発熱した場合どのように行動すればよいのか分からない。不安だ。かかりつけ医がないなど、さまざまな場合の対応をパンフレット等で解説してほしい。また、医療費についても知りたい。  
⇒たしかに分からないことが多いので、早速、新型コロナウイルス感染に関するフローチャートの作成について理事者側に提案します。  
市民へのアナウンスの必要性
  - 西脇病院の発熱トリアージ外来の初診料、受診料、PCR検査の費用など金銭的な事項
  - 陽性となった場合、どのような対応になるのか。（想定される治療方法、入院先など）
- ・（治療費用などを確認した結果）新型コロナウイルス感染症の費用負担については援助（公費負担）をお願いしたい。  
⇒感染されたら、治療費は公費になると思います。
- ・（西脇病院の発熱トリアージ外来の診察を受けた高田井町区長の体験談を聞く。）  
トリアージ外来の動線について改善が必要ではないかと思う。

## ⑨ コロナ収束後の増税（コロナ税）について

- ・新型コロナウイルス感染症対策のために莫大な事業費が、税金や国債で賄われていると思うが、その後が恐ろしい。収束後、もし増税の動きが出たら西脇市議会として国に反対の意見書を提出してほしい。  
⇒そのときの市議会で、働きかけていきます。

## ★2部（意見交換会）の意見・提案

### ① 町内の「溝そうじ」では手に負えない市の水路について（和布町）

- ・暗渠（あんきょ）構造の市の水路について、土砂が堆積し水路としての機能を果たしていない。洪水による被害も想定されるので対処したいが、市の担当者に交渉するも、予算がないときっぱり断られた。地元消防団に相談し、消防車を使用した土砂の詰まり抜き作業の協力を取り付けたが、水利（消火栓）の問題があり現在に至っている。解決策はないか。

⇒高田井町での暗渠（あんきょ）水路の詰まり抜き作業、防火槽の汚泥除去作業の体験談を説明しました。消防に相談してやるしかないのではないのでしょうか。

### ② 山林の地籍調査について（谷町）

- ・山林の筆界を承知している高齢者が健在の内に地籍調査を進めてほしい。

⇒まずは宅地からと聞いています。

### ③ ため池（個人名義）の補修について（平野町）

- ・平野町には個人（共有）名義の「ため池」が存在する。（共有の登記名義人は亡くなっており、多くは相続人も確認していない。）この「ため池」は防災上、重要な役目を果たしている。老朽化が目立ち、何とか補修費用（ため池の詰まり）の支援を受けられないか。西脇市からは個人の「ため池」の補修費用は所有者の負担との回答である。農業用ではなく防災上の観点から、何とかならないか。

⇒ため池届けはお済みであると思いますが、具体的な対応の可否については農村整備課にお問い合わせください。

### ④ 西脇市特定建築行為に係る手続について（和田町）

- ・西脇市特定建築行為に係る手続に関する条例（案）に関するパブリックコメントが実施されているが、この条例が「パチンコ店進出問題」等に対する有効な解決策となることを期待する。

地 区	芳田地区
開催日時	令和2年10月8日(木) 19:30~
開催場所	芳田の里ふれあい館
参加人数	男性8人 女性0人 計 8人
担当議員	村井公平 寺北建樹 林晴信 岡崎義樹 浅田康子 東野敏弘 近藤文博

## ★1部（市議会からの報告）の意見・提案

### ① 発熱トリアージ外来について

- ・発熱トリアージ外来の設置で一般外来患者はかえって不安を感じ西脇病院に行けない。また、その影響で外来患者が減少しているのではないか。  
⇒トリアージ外来は、実施することで安心して診察に来てもらうためのものです。発熱等のチェックをして、問題なければ従来どおり院内で診察を受けられます。また、外来患者は減少していましたが、7月以降は回復傾向にあると聞いています。

### ② 水道料金の免除について

- ・各集落のグラウンド、公民館等の利用の少ないところは期間の延長はないのか。  
⇒半年だけで変わらないと思われまます。

### ③ カラオケ店の営業自粛について

- ・地元のカラオケ店の営業自粛を市に相談するも市からはできないと言われた。換気機材を置いてもらうよう勧められた。他市からの来店が多いので感染の危険を感じた。

### ④ 新型コロナの影響による倒産・離職者について

- ・新型コロナの影響で倒産した企業はあるのか、また離職者の数はどうなのか。  
⇒現在のところ倒産情報はありますが、閉店された店があります。離職者等については出勤日数が減ったり、パートを断られた例は聞いていますが人数までは把握していません。
- ・市内で3人の感染者しか出ていないが、それに対して費用対効果を考えると約9億円の予算は必要なのか。議会は予算の執行をしっかりとチェックしてほしい。  
⇒新型コロナの影響を示す融資及び相談状況は、9月末現在で、緊急小口資金融資件数120件（前年5件）、総合支援資金融資件数56件（前年1件）、コロナ関連消費生活相談11件（前年1件）などと大幅に増加しており、この数字からも影響があることがわかります。

### ⑤ こども園の入園について

- ・10月が新規募集の期間であるが、コロナで就労証明が取れないケースがあり、入園申込みができないケースがある。  
⇒就労していなくても求職活動証明は3カ月有効です。それを越える場合は延長をし、安心して子どもを預けられるようにすることが必要です。

## ★2部（意見交換会）の意見・提案

### ① トライやるに来た中学生の意見について

- ・芳田地区にコンビニや自動販売機の設置をしてほしいとの意見があった。市行政にも検討を申し入れているが未回答である。避難所やコミセンに市が設置することはできないのか。

⇒ある程度のスペースがあれば設置は可能で、公設民営という手法も検討できる可能性があります。

### ② 結婚したら補助金等はあるのか。

- ・他市町ではあると聞くが西脇市は。

⇒近隣の加東市・多可町では結婚新生活支援事業補助金という制度があり、世帯所得 340万円未満で年齢が34歳以下であれば新居費用など30万円が支給されます。

加東市は50万円ですが、西脇市はやっていません。

### ③ 馬事公苑のコロナの影響について

- ・自粛生活で競馬のネット申込みが増加し売上はアップしている。パチンコ店が営業自粛し、競馬に客足が流れた影響もあると思っている。

地 区	津万地区
開催日時	令和2年10月9日(金) 19:00~
開催場所	大野隣保館
参加人数	男性12人 女性0人 計 12人
担当議員	村井公平 寺北建樹 林晴信 岡崎義樹 浅田康子 東野敏弘 近藤文博

★1部（市議会からの報告）の意見・提案

① G I G Aスクールについて

- ・横文字が多くてわからないので、詳しく説明してほしい。  
⇒G I G Aスクールとは文科省が付けた名称です。

② 新型コロナとインフルエンザ予防接種の関係について

- ・発熱トリアージ外来のPRや対策・対応をどのように考えたらいいか。  
⇒発熱の状況によって、かかりつけ医、病院からの指示に従う。陽性の場合はPCR検査を経て検体を県（加古川）へ、後ほど指示があり、それに従うことになります。

③ プレミアム商品券について

- ・消費喚起として取り組んでいるプレミアム商品券だが、全市民が公平性をもって利用できる政策を考えてほしい。（商品券が買えない方のために。）  
⇒利用者の意見を聞き取りしています。

## ★2部（意見交換会）の意見・提案

### ① 避難所について

- ・避難所の定員人数（コロナ対策をした場合）の周知など、いざというときにどこに避難したらいいのかわからない。  
⇒（懇談会開催時）西脇市で災害協定を結んでいるのは、商工会議所の建物だけです。マルハンの立体駐車場等を提案しています。市は、市内の3高校を含めて、体育館や学校の教室なども考えています。また、急傾斜地以外なら垂直避難もすすめています。
- ・指定避難所が遠く、近くの公民館に避難したい。非接触体温計、マスク、消毒液、ダンボールの間仕切りなどの備品を各公民館に支給してほしい。（蒲江）
- ・新型コロナで住民を集められないので、消毒液などの確保、備品などの購入費を予算計上するなど、コロナ感染予防策として考えてほしい。（大垣内）  
⇒区長会から市に是非要望を出していただきたい。
- ・発熱された人の隔離、避難による移動が難しい要援護者、スペースの確保などを考えてほしい。（蒲江）  
⇒現在、豪雨等との複合災害対応など民間との災害協定を対策中です。
- ・津万地区は土地が低く、緊急時に消防機材を使って北バイパスに避難できないか。（嶋）  
⇒国交省管轄、高規格道路の交付金を使って避難するなど検討しています。
- ・避難所となる体育館は、夏は暑くてたまらない。3密含めての換気などは大丈夫か。  
⇒冷風機や大型ファンなどの設置を始めています。
- ・避難所は川の近くが多いので、市の避難計画を聞かせてほしい。  
⇒防災計画などは、タイムラインで取り組んでいます。
- ・防災無線で避難情報を放送する際、対象地域に限定して流すことはできないのか。  
⇒デジタルに交換中で、デジタルになれば地域の指定ができるのか確認が必要です。

### ② 農業振興について

- ・新型コロナの影響で山田錦の契約数量など、単価が低くなっている。視点を変えて取り組んだらどうか。（転作すれば補助金が出るなど）  
⇒県（JA）は、国に酒米・食米などへの支援要望を出しています。

地 区	西脇地区
開催日時	令和2年10月15日(木) 19:00~
開催場所	センティア西脇
参加人数	男性12人 女性1人 計 13人
担当議員	高瀬洋 中川正則 村井正信 坂部武美 村岡栄紀 美土路祐子 吉井敏恭

★1部（市議会からの報告）の意見・提案

① 西脇市新型コロナウイルス感染症緊急対策の予算額について

- ・財源内訳の「その他」 1,713,000円の内容は。  
⇒全国学校給食連絡会からの補助金及び介護保険財政調整金です。
- ・項目にある「緊急対策」の第1弾と第2弾の境目は。  
⇒令和2年5月～6月となります。

★2部（意見交換会）の意見・提案

① 発熱した場合の受診方法について

- ・発熱した場合、かかりつけ医に連絡して指示を受ける。かかりつけ医がない場合は保健所に連絡と認識しているが、間違いないか。  
⇒発熱の状態により対応が異なります。直接、西脇病院の発熱トリアージ外来に行くことも考えられます。発熱トリアージ外来での受診について説明しました。
- ・どうしても気になるのは、感染しないかどうかなので、簡単に検査できるシステムをもっと住民にわかりやすくしてほしい。感染した場合のPCR検査などの情報を提供してほしい。  
⇒他地区においても「どうしたらいいのか」との質問がありました。班会議などを経て、是非とも理事者に、分かりやすい内容のリーフレット作成を提案します。

② インフルエンザ予防接種について

- ・（神戸市で予防接種を受けた参加者から）西脇市におけるインフルエンザ予防接種の自己負担軽減について  
⇒西脇市では高齢者のインフルエンザ予防接種の事業を実施しており、65歳以上の方、60歳以上65歳未満であっても障害を有する方を無料としています。議会においては、コロナ禍において65歳未満の方の予防接種をすすめるため、無償化を検討したが「ワクチンの供給量に限界があり、優先的な接種対象者の支障とならないように…」との厚労省からの呼びかけに応え、無償化を断念した経緯を説明しました。

③ 議員の報酬等のカットについて

- ・議員は報酬等のカットを考えているのか。  
⇒令和2年6月から11月までの間、報酬及び期末手当ともに10%カットしています。さらに12月以降の延長も検討していることや、近隣市町の状況を説明しました。

#### ④ 敬老金の減額について

- ・77歳の敬老金を廃止したことについて、何とか財源を見つけて継続することができなかったのか。残念である。議員としては反対すべきではないか。  
⇒削減された財源は、新庁舎のオープンにあわせて健康増進事業の展開や公共交通の再編（コミュニティバスの再編、デマンド型交通の導入）などに充てられ、高齢者はもちろんのこと、より多くの市民が恩恵を受けられる事業に充当される計画ですのでご理解ください。

#### ⑤ 西脇病院の発熱トリアージ外来について

- ・発熱トリアージ外来の取組について、近隣他市の状況は。  
⇒西脇病院独自の取組です。この取組が多くのテレビ局でも放送され、注目を集めました。
- ・発熱トリアージ外来の受診者数は。  
⇒手元に資料がないので、後日、西脇区事務所に報告します。  
⇒（発熱トリアージ外来の取組に関連して）医療従事者に支給される（国の）慰労金1億5千万円（1人につき20万円）について説明しました。
- ・発熱トリアージ外来の受診者は市民に限られているのか。  
⇒限られていません。
- ・発熱トリアージ外来の設置予算620万円は何に使われているのか。  
⇒当初はテントでの対応でしたが、発熱トリアージ外来の設置長期化を見据え、空調を備えたプレハブの診察室・待合室を整備したことによる、プレハブのレンタル料です。

#### ⑥ 加東健康福祉事務所管内の患者数が多いことについて

- ・県内の健康福祉事務所の中でも、伊丹健康福祉事務所に次いで、加東健康福祉事務所の患者数が多い原因は。  
⇒患者の個人情報には地元の自治体に知らされておらず、当然、議員も承知していません。患者数が多い原因はわかりません。

#### ⑦ 水道料金の免除について

- ・水道料金とセットで下水道料金も免除してほしい。  
⇒下水道料金を免除しない理由としては、水道の使い過ぎを抑制するためと考えられます。理事者側の説明では、水道料金免除の期間延長については、現時点で考えていないとのことでした。

##### 水道料金の免除に関連して ー問いかけー

- ・水道料金の免除は、全市民にいきわたる支援と考えている。プレミアム付き商品券のように購入者を支援するもの、子育て世帯や生活困窮者を対象とした支援などさまざまな事業に取り組んでいる。参加されたみなさんは、どのような事業に期待されているか。

(参加者の応答)

- ・様々な事業がなされているが、事業費の原資は税金である。新型コロナウイルス感染症収束後の増税や次世代の負担につながらないか心配している。



## ⑧ 高齢者を対象に開催している遊友会（一人暮らしの会）について

- ・西脇区には75歳以上が令和2年4月現在 825人。月1回、一人暮らしの高齢者を対象とした遊友会を開催していたが、コロナ禍で令和2年3月から開催を見合わせている。

一人暮らしの人から電話で「寂しい」との声が寄せられている。最近では、体の不調を訴える声が多くなってきた。社会福祉協議会に行つて遊友会の再開を相談するも新型コロナウイルス感染を理由に了解がもらえない。社会福祉協議会においては、一人暮らしの高齢者へ電話による声掛けをしてもらっており、高齢者からは喜びの声ももらっている。

民生委員も対面による活動が制約されている。今まで元気だった方がうつになったという話も聞く。慎重になるのもいいが、もっと良い方法を考えてもらいたい。

- ※参加人数の半減や昼食を提供しないなどの開催方法を変更しての提案についても社会福祉協議会の了解がもらえない。命に関わる責任を問われると反論の余地がない。⇒これまで開催が中止または縮小されていたイベントについて、状況を見ながら開催を増やすよう申し入れます。

## ⑨ その他

- ・西脇市新型コロナウイルス感染症緊急対策について説明を受け、さまざまな事業がなされていることに驚いた。もっと市民に周知を図るべきではないか。
- ・行政が広域化しているが、各自治体に保健所などは必要である。西脇市に保健所を戻せないのか。  
⇒今のところ、そういう方向にはなっていません。
- ・防火用水の水が枯れている。何とかしてほしいと数年前から要望している。近くに消火栓が設置されている理由から未解決のままとなっている。住宅密集地で火災が発生した場合を考えると不安である。（南本町）  
⇒（区長より）防火用水に消火栓を使用して水を入れることは、濁りなど、近隣に迷惑を掛けることから禁止しています。万が一、火災時には消火栓を使用すればよい。雨水の利用等も考えられます。＜西脇区において対応＞  
⇒高田井町の水利に恵まれない防火水槽の対処（自然水利を利用した演習に際して満水にする等）を説明します。
- ・移住してくる人や若い人のことをもう少し考えてほしい。加西の市営住宅に住み、西脇市で仕事をしている知人が、移住（新居を構える）を計画し、近隣4市1町（西脇市、加西市、加東市、小野市、多可町）から冊子を取り寄せたが、冊子の体裁・支援の内容が他市と比較して見劣るとの評価であった。加東市、小野市が群を抜いているとのこと。

地 区	黒田庄地区
開催日時	令和2年10月15日(木) 19:00~
開催場所	黒っこプラザ
参加人数	男性14人 女性0人 計 14人
担当議員	村井公平 寺北建樹 林晴信 岡崎義樹 浅田康子 東野敏弘 近藤文博

## ★1部（市議会からの報告）の意見・提案

### ① G I G Aスクールについて

- ・当初予算に入っていた、対応が遅いのではないかと、するのなら早い方が良いと思う、現状はどうなっているのか。  
⇒タブレットは市へ納入済みです。現在初期設定中で、令和2年10月末から11月中旬には配布予定です。当初の予定（12月末）より早まっています。

### ② コロナ対策について

- ・コロナ対策に高齢者への事業が少ない。  
⇒特に高齢者だけでなく市民全体を対象としています。また、コロナで影響を受けた困窮者に対する施策で、コロナで年金が減額となっていない高齢者向けの施策は特にありません。
- ・徐々に公民館に集まる機会が増えてきた、防止対策は各町でしているが、マスク、消毒液、非接触体温計等を市から支援してほしい。  
⇒区長会でまとめて要望してください。1町に10万円とすると、80町で800万円の予算かと想定されます。

## ★2部（意見交換会）の意見・提案

### ① テレビの共聴アンテナについて

- ・共聴アンテナでテレビを見ている家が多いなか、ブースターの部品がなくなっている。町で一台予備に買うことにしたが90万円する。（前坂）
- ・共聴アンテナが老朽化し維持管理が難しくなっている。また、JRの線路をまたいでいる区域ではe o光等も通せない状況。インフラのことなので行政で考えてほしい。（小苗・船町）
- ・e o光等に加入する人が増えて組合費が減っている。現状の改善を市の総務に相談したら、今年度中には方向を出したいと返事があった。（田高）
- ・国の施策で補助が出るのか、いつになるのかが知りたい、e o光等にすると1カ月3,000円、共聴アンテナだと1カ月500円かかる。（黒田）  
⇒国の補助がないと市単独ではできない事業です。集落ごとに基地を作り、電波を飛ばして集落をカバーすることになり、莫大な費用になります。

### ② その他

- ・敬老会の行事が中止となったが、補助金は支給してもらえたので記念品を配布したところ大変喜んでもらった。
- ・加古川の掘削をしてもらったので助かった。今後も継続してほしい。
- ・今年度の事業はほとんど中止となり予算は不要となったが、令和3年度予算は同様をお願いしたい。

地 区	日野地区
開催日時	令和2年10月17日(土) 19:00～
開催場所	サンパル日野
参加人数	男性14人 女性0人 計 14人
担当議員	村井公平 寺北建樹 林晴信 岡崎義樹 浅田康子 東野敏弘 近藤文博

★1部（市議会からの報告）の意見・提案

① 水道料金の免除について

- ・水道料金の減免を是非とも半年間延長してほしい。（小坂町）  
⇒市は現在延長するとは言っていません。ただ、小野市は延長を決めており、市が継続するなら議会で議論します。

② ポイントシール事業について

- ・ポイントシール事業は、利用する期間が短すぎて使いにくかった、次はもっと長くしてほしい。プレミアム商品券は期間も長く年末年始に使えるのでありがたい。  
⇒3商店会からは非常に好評でした。ポイントシール事業を来年度以降も実施してほしいという声も多くありました。  
⇒ポイントシール事業は商店会の振興のための事業なので、早く効果がでる方が良くとの考えです。そして、引き続きプレミアム商品券へと引き継がれます。

★2部（意見交換会）の意見・提案

① 今後の議員報酬について

- ・丹波篠山市などで議員の報酬削減が話題となった。そうした中での議員報酬の状況はどうなのか。（小坂町）  
⇒議員の報酬は、令和2年6月から11月までの半年間は賞与・報酬ともに10%削減しています。その後も、12月から3月まで継続します。

② 企業誘致について

- ・飲食店の景気は戻りつつあると思うが、アパレルの落ち込みは相当ひどい、繊維頼みの西脇では今後は田んぼを埋めてでも新たな企業誘致の土地を確保することが必要だ。  
⇒企業誘致できるよう3カ所の土地を調査中です。農地の活用の指摘もあり、議会でも問題にしていますが、国の法律（農振法）自体を変えないことにはできない問題です。

③ その他

- ・小坂町は大きな土地を抱えているが、何とかならないか。  
⇒議会として塩漬けの土地を調査しており、市はそのような土地を売却するようHPにアップしています。
- ・旧染色工場の跡地はどうなるのか。  
⇒商業施設として売却する方向ですが、売却先は契約の締結まで非公開です。
- ・現庁舎跡地やみどり園の跡地の利活用の動向はどうなっているのか。  
⇒現庁舎跡地については、現在、市がサウンディング調査に入っています。  
(代表区長より：日野地区で意見をまとめて提案する準備中である。)

## 西 脇 市 議 会

◆西脇市議会HP

<https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/gikaijimukyoku/index.html>

◆西脇市議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/nishiwakigikai>

◆西脇市議会事務局

〒677-8511 西脇市郷瀬町 605番地

T E L : 0795 (22) 3111 内線 302・304

F A X : 0795 (22) 4301

E-Mail : [gikai@city.nishiwaki.lg.jp](mailto:gikai@city.nishiwaki.lg.jp)